

八王子の治安をなんとかしたい！

—風俗街と都市空間の比較分析—

We want to improve public order in Hachioji City !
—comparative analysis of red-light district and urban space—

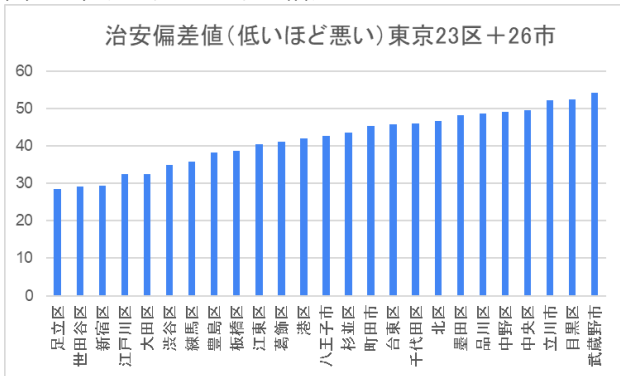
創価大学法学部法律学科 和足ゼミ
富谷美紀子, 井岡美優, 伊東咲和, 大貫翔, 山本葉子, 神戸涼香, 長谷川翔平
指導教員 和足憲明
創価大学法学部法律学科

キーワード：治安, 風俗街, 都市空間

1. 問題意識と問い

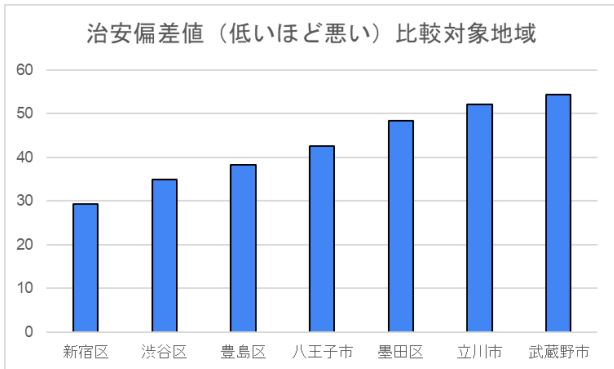
本報告の問題意識は、「八王子の治安が悪いという課題に対して、どうすれば八王子の治安を改善することができるのか」というものである。実際に、東京23区と26市の全49自治体の治安ランキングを見ると、八王子市は37位となっている(図1参照)。また、東京の代表的な繁華街(新宿・渋谷・池袋・錦糸町・吉祥寺・立川)がある自治体と比較すると、錦糸町がある墨田区、立川がある立川市、吉祥寺がある武蔵野市よりも治安ランキングが悪い(図2参照)。とりわけ同じ中央線沿線の立川・武蔵野よりも悪いことが注目に値する。

図1 東京23区と26市の治安ランキング



出典：<https://shiromaru-life.com/tokyo-chian/>

図2 東京の代表的な繁華街の治安ランキング



出典：<https://shiromaru-life.com/tokyo-chian/>

なお、治安ランキングは「治安偏差値」の高低によって示される(偏差値が低いほど治安が悪い)。「治安偏差値」は次のように算出している。まず、発生した犯罪数は「凶悪犯+粗暴犯+窃盗+その他」の合計である。次に「犯罪数/地区面積」(1km²あたりの犯罪数)と「犯罪数/人口」(1人あたりの犯罪数)の平均に基づいて偏差値を計算している。

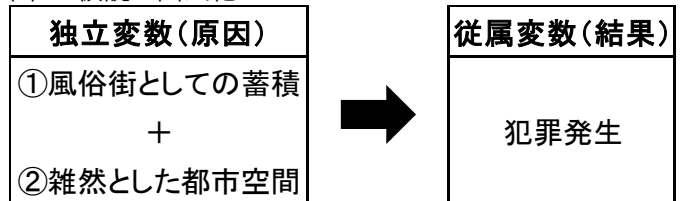
本報告は、「八王子の治安が悪いという課題に対して、どうすれば八王子の治安を改善することができるのか」という問題意識に対して、「なぜ八王子駅周辺の治安は中央線沿線の代表的な繁華街である吉祥寺・立川と比べて悪いのか」という問いの検討を通じて解答を試みる。ここで、市全体ではなく駅周辺に分析対象を限定した理由は、比較分析が容易となるからである。

以上の検討から、「なぜ八王子駅周辺の治安は東京の中央線沿線の代表的な繁華街である吉祥寺・立川と比べて悪いのか」という問いを導出できる。

2. 仮説の提示

本報告は上記の問いに対し、「風俗街+都市空間」仮説を提示する。「風俗街+都市空間」仮説とは、「風俗街としての蓄積に基づく評判が顧客や店を呼び寄せ、風俗街を資金源とする暴力団が介在することによって、犯罪発生の土台を形成する。そのうえで、他の都市と比べて雑然とした駅前都市空間がさらなる犯罪発生の可能性を高める」というものである(図3参照)。

図3 仮説の図式化



出典：筆者作成

3. 仮説の操作化と検証

まず、仮説の操作化を行っていく。

従属変数（結果）は前述の「治安偏差値」によって操作化する。

独立変数（原因）は次のように操作化する。

①「風俗街としての蓄積」は「歴史の長さ」と「風俗店（性風俗性風俗関連特殊営業店+接待飲食営業店）の数」によって操作化する。

②「雑然とした都市空間」は「商業地域における道幅の狭さ」と「高層建築物に囲まれた死角や影の存在」によって操作化する。

次に、上記の仮説の操作化を踏まえ、仮説を検証していく。

①「風俗街としての蓄積」を検討していく。八王子の風俗街としての歴史は江戸時代の宿場町から形成されており、他の都市（池袋・錦糸町・渋谷・新宿・立川・吉祥寺）と比べても極めて古いことがわかる。また、キャバクラなどの「接待営業飲食店」が立川や吉祥寺に比べて多い。こうした特徴が治安の悪さの背景にあると考えられる（表1参照）。

②「雑然とした都市空間」を検討していく。八王子駅前の都市空間の特徴として、第1に「商業地域」（ユーロード沿い）における道幅が狭いということが挙げられる。たしかにユーロード自体の道幅は広く歩行者天国となっている。しかし、それ以外は道幅が狭く、呼び込みもあって非常に窮屈になっている。この点で、吉祥寺・立川とは対照的である。第2に、ユーロード周辺は「高層建築物に囲まれた死角や影」、すなわち路地裏などの細く暗い場所が多く存在している。この点でも吉祥寺・立川とは対照的である（表2参照）。

表1 風俗街としての蓄積

	歓楽街(風俗街) となった年	風俗店の件数	性風俗関連特殊 営業店の件数	接待飲食営業店 の件数
池袋	1903	360	182	178
錦糸町	1894	139	63	76
渋谷	1973	144	98	46
新宿	1960	324	131	193
立川	1930	79	38	41
吉祥寺	1974	49	8	41
八王子	1652	64	9	55

出典：各種インターネット記事より筆者作成

表2 雑然とした都市空間

	池袋	錦糸町	渋谷	新宿	立川	吉祥寺	八王子
道幅	中程度	中程度	広い	広い	広い	中程度	狭い
死角(影)	ある	ある	ある	ある	ほとんどない	ほとんどない	ある

出典：各都市の景観写真より筆者作成

以上の仮説の検証作業から、「風俗街+都市空間」仮説は一定程度支持されたと考える。八王子の治安の悪さを「風俗街+都市空間」仮説に沿って説明すると、次のようになる。第1に、江戸時代の宿場町から形成された風俗街の歴史と「接待営業飲食店」（キャバクラ）の多さという「風俗街としての蓄積」が顧客・店を呼び寄せ、風俗街を資金源とする暴力

団が介在することによって、犯罪発生の土台を形成している。第2に、「道幅が狭く非常に窮屈な路地」と「裏路地など高層建築物に囲まれた死角や影の存在」が組み合わさって「雑然とした都市空間」が形成されている。こうした「雑然とした都市空間」がさらなる犯罪発生の可能性を高めている。

4. 政策提案

以上の「風俗街+都市空間」仮説に基づき、八王子の治安を改善する政策提案を行っていく。「風俗街+都市空間」仮説によれば、八王子の治安が悪い原因は次の2点である。第1に、「風俗街としての蓄積」、すなわち八王子の風俗街としての長い歴史とキャバクラなどの「接待営業飲食店」の多さが治安悪化の背景となっている。第2に、「道幅が狭く窮屈な路地」と「高層建築物に囲まれた死角の存在」によって「雑然とした都市空間」が形成され、犯罪発生につながっている。そこで、①「風俗街としての蓄積」と②「雑然とした都市空間」のそれぞれに対する解決策を提案する。

①「風俗街としての蓄積」への対応策としては、「呼び込み規制の強化」を提案する。具体的には、(i) 駅周辺に「客引き・スカウト等の禁止」を呼びかけるポスターの掲示やアナウンスを増やす。(ii) 市役所防犯課・警察官の巡回パトロール回数を増やすことによって、「客引き・スカウト」を許さないという雰囲気醸成していく。その結果、徐々に「風俗街としてのイメージ」も払拭され、犯罪発生の基盤が弱まっていくと思われる。

②「雑然とした都市空間」への対応策としては、根本的には「市街地の再開発」が必要ではあるが、時間・予算・権利関係の問題から困難である。そこで、「都市空間のイメージ改善」を通じて「雑然とした都市空間」の問題を緩和するというアプローチを提案する。具体的には、(i) 商店街などの地域住民の協力を得ながら路地の清掃を行い、ゴミが落ちていない状態を維持する。(ii) 商店街と市街地整備課の協働のもと、「中心市街地活性化基本計画」に「暗い路地裏への街路灯の設置」を盛り込み、街路灯を整備していく。その結果、犯罪が起きやすい「街の死角」を解消することができる。(iii) 家族連れが訪れやすい「ファミリーレストラン」や「スーパー」をユーロードに目立つ形で誘致することによって、「繁華街のイメージ」を明るくしていく。

5. まとめ

本報告の問いは「なぜ八王子駅周辺の治安は中央線沿線の代表的な繁華街である吉祥寺・立川と比べて悪いのか」であった。問いに対して、「風俗街+都市空間」仮説を提示した。当該仮説を都市間比較分析によって検証し、仮説は支持された。そのうえで仮説に沿って、①「呼び込み規制の強化」と「都市空間のイメージ改善」という改善策を提案した。